

山都町はSDGs「持続可能な開発目標」に取り組みます!



『山都町 × SDGs』 vol.3 ~ ゴール3・4 ~

3 すべての人に健康と福祉を

ゴール3…『健康であること』
何歳であっても、健康で、安心して満ちに暮らせるようにする

目標3を達成するために、世界の国々が合意したこと

- ・麻薬・アルコールの危険性や、心の病気の予防についての知識を広めます。
- ・世界中で、交通事故による死者や負傷者の数を半分に減らします。
- ・害のある化学物質や、大気汚染や、水質汚染、土壌汚染が原因で、命を落としたり病気になったりする人の数を大きく減らします。

4 質の高い教育をみんなに

ゴール4…『質の高い教育』
だれもが平等に質の高い教育を受けられるようにし、だれもが生涯にわたってあらゆる機会に学習できるようにする

目標4を達成するために世界の国々が合意したこと

- ・男の子も女の子も、障害のある子どもや少数民族出身の人、紛争にまきこまれた人も、みんな平等に教育を受けられるようにします。
- ・「持続可能な開発のための教育」(一人ひとりが、自分のまわりのことだけでなく、世界の人々や未来のこと、また環境を考えながら生活や行動をしていけるようになることを目指した教育)を広めます。

セーブ・ザ・チルドレン「私たちが目指す世界」より引用



山都町の有機野菜がおいしいとは土もおいしいかけんよね~。
美味しい野菜は健康にも繋がるとね♪



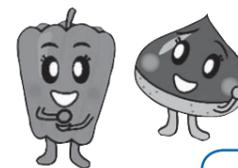
山都町の小中学校の給食には山都町産のお米が使われとるって知った?
美味しいお米で学力UP!

矢部小学校の取り組み『やる気スイッチ大作戦』~家族で漢検チャレンジ~

矢部小学校では学力向上等を目的として漢字検定にチャレンジされています。地域・保護者によりアルミ缶の回収を行い、そのリサイクル益金等を受験料の一部に充当しています。学校・PTA・地域住民の方々が共に手を取り合うことで実現できている取り組みです。★矢部小っ子の基礎学力向上・学習習慣の定着★じいちゃん・ばあちゃんたちの健康増進・脳トレに★家族団らん・食卓の文化的話題作り★リサイクルで資源の有効活用を学ぶゴール3, 4, 12, 17に関連する取り組みです。

矢部中学校の取り組み『エコキャップ回収運動』

通常燃えるゴミとして処理されてしまうペットボトルのキャップを回収してエコキャップアートに取り組みました。集めた残りのキャップは世界の子どもたちにワクチンを届けるために利用されます。環境にもやさしく、ゴール3, 12に関連する取り組みです。



問合せ先 企画政策課 ☎72-1214

わたしたちの人権

174

誰もが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利
これが『人権』です

人権を考える町民の集い

7月24日(水)に矢部保健福祉センター千寿苑において山都町人権を考える町民の集いが開催されました。

講師として、鹿児島県日置市で伝統・和太鼓製造販売を営む「宮丸太鼓店」の店主であり、部落解放同盟鹿児島県連合会書記次長としても活動されている宮内礼治(みやうちれいじ)さんをお迎えし、「誇りをもって生きる」と題し、ご講演いただきました。

宮内さんは、5年間、保育士を勤めた後、父の背中を追って幼少期から憧れであった太鼓職人になられました。

講演活動を始めるきっかけとなった、ある小学生との会話をとお話されました。

小学生 「おじちゃん、何しているの?」

宮内さん 「太鼓作っているよ」

小学生 「どうやって作るの?」

宮内さん 「牛の皮で作るよ」

小学生 「牛を殺すの?」

宮内さん 「いや違うよ。みんなが食べて残った皮を使っているよ」

小学生 「ひどい!かわいそう!」

宮内さん 「いや。いや。違うよ。残った皮を・・・」

小学生は「太鼓屋は、牛を殺す。ひどい。かわいそう」と思い込んでしまい、宮内さんは小学生に誤解をさせてしまったと悩むことに

なりました。このことがきっかけとなり、「子供も大人も、聞いたことや噂などの表面的なことだけを信用してしまうところがあり、それが誤解を生んでしまう」ということ、また「作り手の想いを伝えていくことの大切さ」を身をもって体験し、「誤解のないように正しく伝えていかなければならぬ」と強く決意され、現在は太鼓づくりの実演を交えながら、部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくすための講演活動を各地で続けられています。

宮内さんは太鼓づくりの素晴らしい技術を披露されながら、分かりやすく丁寧に自らの思いを参加者に語られました。参加者からは、「表面的に知るのではなく、本当のことを正しく知ること。自分でしっかりと考えることが人権意識の高まりに繋がることが実感した。」「自分で人権について考えを深め、自分なりの考えを出していくことが大切であることを学んだ。」などの感想を頂きました。



太鼓づくりを実演しながら、思いを語られる宮内さん



会場の様子